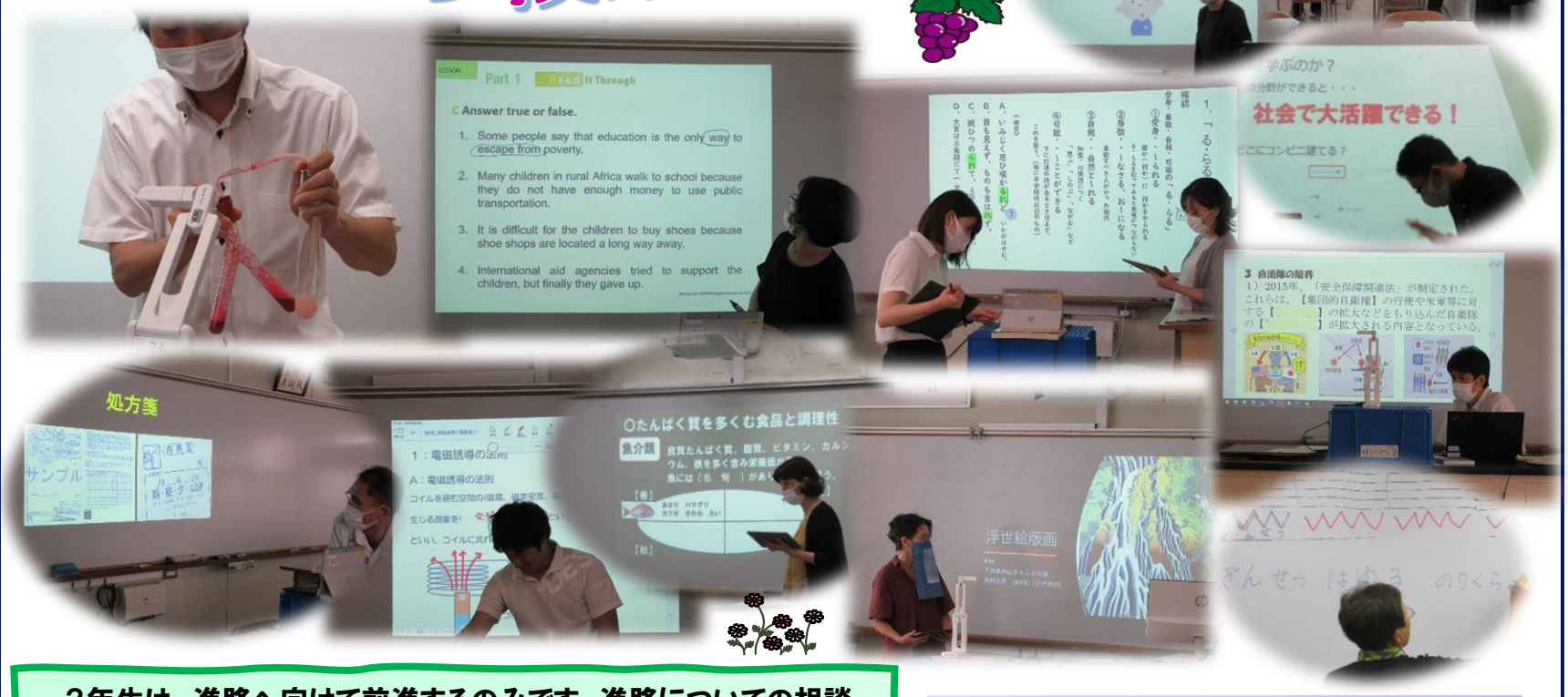
吉高ニュース

岐阜県立吉城高等学校 渉外部
令和3年 9月号

コロナに負けるな

オンライン授業の様子

８月２３日、夏休みは終了しましたが、コロナ新規感染者の増加により、オンライン授業での開始となりました。



３年生は、進路へ向けて前進するのみです。進路についての相談、懇談、面接指導、コロナ対策をしながら行っています。

育友会役員の方から、面接指導をしていただきました。

対面授業の開始

今まで以上に気を引き締めながら、感染予防策を取り、３年生の対面授業が９月１３日より、スタートしました。

制限が多い生活ですが、久しぶりの生徒の笑顔で、学校には活気が戻ってきました。

岐阜県立吉城高等学校　キャリア推進部

地域課題解決型キャリア教育「吉高地域キラメキプロジェクト」

YCK PROJECT REPORT

地域をフィールドに多様な人とのつながりが価値ある学びをつくる

第4号

8月17日

2021

発行

YCKプロジェクト 課外活動プログラム 「②市長による夏休み特別補習」を実施しました！

課外活動プログラムとは、

自分の興味・関心・予定に合わせて参加できる、吉城高校の地域貢献活動です。今年度もバラエティーに富んだ魅力あふれる12のメニューを実施します。当日に参加するだけではなく、事前学習や振り返りによって、体験を通した学びを充実させています。

「市長による夏休み特別補習」

◆日時：令和３年７月28日(水)
12:45～15:30

◆場所：吉城高校

◆参加者：１年（９名）、３年（13名）

飛騨市の都竹淳也市長に来校していただき、夏の特別補習を実施しました。

毎日の暮らしの中で、これは困った、不便だ、何とかしてほしいということを１人3つ付箋に書き出し、グループで交流しました。各グループからは「お店が少ない」「バスや列車が少ない」「遊べるところが少ない」などの問題点があがりました。その問題に対して、なぜこうした問題が発生しているのか、原因として考えられることは何かを各自アイデアを出し、グループで話し合いました。その結果、様々な問題は人口が減少しているということに起因しており、その人口減少をとめることは極めて難しいということ教えていただきました。人口減少に歯止めがかからない中、どのようにしたら町が活性化し、市民が暮らしやすい飛騨市になるかを考え、実行していくことが市の仕事だとおっしゃってみえました。「課題＝現実－理想」で考えていくと、現在の課題は何が原因で起こっているのか、その原因をどうすれば解決できるのか、何をすればよいのかがみえてくるというお話が印象的でした。

その後、飛騨市が実際に取り組まれている、棚田の景観の保存方法と高齢者の買い物問題の解決策を出し合いました。棚田の景観については、「ボランティアを募集する」「ロケ地にしてもらう」「学生が学校行事で整備する」など様々な意見が出ました。買い物問題については、「移動販売を取り入れる」「ドローンで荷物を届ける」など意見が出ました。実際に飛騨市ではこの2つの問題にどのように取り組んでいるかというお話も伺いました。

ワークショップ実施後、生徒たちは「解決策が少ないと思っていたことでも、仲間の意見の中にはその手があったかと思うことが多かった。都竹市長の、目には確かに映っているが見ようと思っていないものは見ていないことになっているという言葉が胸に刺さった。自分は少ない解決策しかみつけられなかったのだと視野の狭さを痛感した」「日常で起こっている出来事に目を向けて、気になったものを少しでも調べることでこれからやりたいことを新しく見つけていきいと思った」「一つの見方・考え方ではなく、あらゆる視点で考えてみることの大切さ、それを実行し、継続することの大切さを知ることができた」など、短時間でしたが多くの収穫があったようでした。今回の特別補習は飛騨市の課題について考えましたが、日常に置き換えて、自分の回りで起こっていることに対しても問題意識をもって見ることで、新しい課題や、今後取り組みたいことを見つけることができるのではないでしょうか。

お忙しいところ、熱量の高いワークショップを実施していただき、ありがとうございました。

ご意見・ご感想などは、吉城高校・キャリア推進部までお問い合わせください。
☎ 0577－73－4555